

*欲しいのは、あなたの愛だけだったのに――

野を駆け

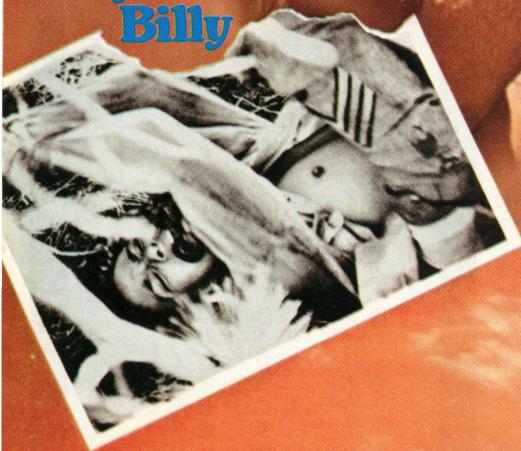
愛をたしかめあつた二人――

いま、悲痛な叫びとともに

青春が砕け散る――

アメリカン・ニュー・シネマの傑作！

Cryforme
Billy



クリフ・ポッツ*ゾーチル
ハリー・ティーン・スタントン

カラー作品*アメリカ映画

風に向って走れ

製作総指揮 エリオット・カストナー 監督 ウィリアム・A・グラハム 脚本 デビッド・マークソン 松竹・富士映画共同配給

風に向かって走れ

●カラー作品●アメリカ映画

松竹・富士映画 共同配給



いま、若い恋人たちへ贈るノ愛のショック・ロマン

一人のインディアン娘の愛と死。それもへ愛する恋人の目の前で暴行された娘の自殺ノ凝縮された愛の悲劇

《愛》は、決して簡単に幸せを約束しないばかりか、しばしば思いがけない残酷な結末を用意する。ひとりの白人青年と、ひとりのインディアン娘が、人間同志の熱い憎しみに渴きあがった荒野で、運命的な出会いを待った。目もくらむほど真紅な朝日に始まって、心がかきむしられるほど真赤な鮮血に終る——ひとつの悲惨な瞬間の愛。

会ったばかりの二人の間には、意志や感情を伝える共通の言葉もない。肌の色も同じでない。まして信頼など望むべくもない。永い年月、白人はインディアンを迫害し、インディアンは白人に追いつめられていた間柄なのだ。

太陽に射られ、不毛の岩山を逃げる殺気だった二人——愛の昂まりを残酷に撃つ追跡隊の報復。愛を知った瞬間、娘は取りかえしのつかない事態へと展開してゆき、激烈なラスト・シーンへと一気に噴きあがる……。

映像の詩人 ウィリアム・グラハム監督

若い世代ファンに大きな衝撃を残して、通り過ぎていったアメリカン・ニュー・シネマの流れを継いで、いま若者のナマナましい愛と叫びを、リアルに見捨てた七〇年代期待のホープ、ウィリアム・グラハム監督。アメリカテレビ界のニュー・ウェーブ派として、数々の冒険的テレビ・ドラマを手掛けた彼は、この映画では、現代若者の孤独で荒たい《愛》の格闘と、その心の奥底にひそむ優しさを、真正面からえぐり出している。

訪づれた愛と、その愛が招いてしまった悲劇——、そのいつさいの粉飾をはぎとった青春に、あらためて悲しみの衝撃を訴える。

ベリー、愛の伝説……。

大西部に咲いた、白人青年ベリー・ウィリアムスと美しいインディアン娘の清らかな恋。そして、死という悲しい別離。実在したこの二人の物語は、いまもその地方の人々の心に語り継がれ切々たるバラードとして広くアメリカ全土に響き渡る。

大草原のかなた

大空のかなた

インディアン娘と 若者ベリー

ベリー ベリー ベリーのバラード

あの悲しい日から 人々は歌う……

ベリーという名の若者がいた

西部にとどろく 早射ちベリー

殺しの仕事はもう飽きた

心の平和を求めて 昔を洗う時が来た

ベリー ベリー ベリーのバラード

小さなすずめ

折れた翼の 小さなすずめ

恐がらないで 小さな鼓動が聞こえる

いつまでも お前といっしょ 小さなすずめ

